

# 是正処置回答書

(JARI-RB 提出用)

受審組織 名		適用規格	<input type="checkbox"/> ISO 14001 <input type="checkbox"/> ISO 9001 <input type="checkbox"/> ISO 39001 <input type="checkbox"/> ISO 45001
1. 指摘事項の内容：（指摘書 No:                      ） （区分：□メジャーNC（是正完了）、□マイナーNC（是正計画）：該当する方に☑を入れてください。			
審査指摘書の指摘区分と概要及び 指摘書 No.をコピーして下さい。		NC 調査をした結果、 ・NCはこの事例のみの事象なのか、この事例以外 にも同様のNCが検出されたのか ・突発的発生なのか定常的に起こっていたのか ・発生による環境または品質への影響度合い などを考慮の上ご記入下さい。	
2. NC の発生状況(影響度、頻度、同様の NC の発生状況)			
3. NC の他部門、他拠点等への影響(NC が該当するか)   □有   □無   ： NC が他の部門・拠点にも該当し水平的な是正展開の 必要有無を考慮の上ご記入下さい。 NC が他部門、他拠点に該当しない場合は、“無” にチ ェックの上、その根拠をご記入ください。			
4. 修正処置（NC の解消のための処置）： 発生した NC 現象自体を、適合状態にするために とった処置内容をご記入ください。 (例：〇〇を再度確認した。 △△を追加した。)			
5. NC となった根本原因： NC の根本原因は、2. NC 発生状況とは異なります。なぜ、そ の NC が発生してしまったのか、プロセスを遡って(時系列的 に捉え)原因を深くかつ広く掘り下げ、再発防止が期待できる 根本原因をご記入ください。なお、原因は1つだけとは限りま せん。その場合は箇条書きにしてください。			
6. 是正処置／計画（NC 発生原因の除去＝再発防止の処置）の内容 (注1：メジャーNCの場合は是正処置結果を、マイナーNCの場合は是正処置内容とその実施計画を記載) (注2：3項で“有”とした場合は他部門、他拠点等の是正処置状況を含めて記載) (注3：修正処置のみで再発防止につながるとする場合、是正処置が不要である根拠を記載) 是正処置を完了した場合：NCの根本原因が取り除かれ、再発防止につながる処置を 実施した後にその実施内容を記入してください。 是正計画の策定の場合   ：実施する是正処置内容とその実施計画を記入してください。 ※添付資料がある場合は、以下の点を記載ください。 ① 資料名が識別できるようにしてください。(別紙1参照、等) ② 改善の前後を比較対照した形で表現してください。 ③ 具体的な変更箇所は、アンダーライン等で明確にしてください。(追加部分、変更部分)			
責任者署名			
処置確認 <input type="checkbox"/> 是正処置                      が適正であることを確認しました。 <input type="checkbox"/> 是                      直筆署名をお願いいたします。                      。（実施予定日                      年                      月                      日頃） <input type="checkbox"/> 是                      パソコン印字は不可です。			
審査チームリーダー		年                      月                      日	